

## コラム 文化遺産活用調査事業 自然遺産調査

現在、当館では、長瀨岩畳及びその周辺について、動物・植物・地質の各分野で総合的な調査に取り組んでいます。このような調査で、自然環境と生物相に関する基礎的知見及び資料を収集し、博物館の活動に活用することを目的としています。

本調査のうち、哺乳類調査の一部を紹介します。多くの哺乳類が夜行性であることから、夜間、観察する必要があります。そこで、自動撮影カメラを用いて、カメラの前を横切る哺乳類を撮影する調査を行いました。その結果、蓬萊島公園ではイタチ、岩畳付近の林内ではタヌキ、アライグマ、ネコ、虎岩近くの林内ではタヌキが撮影されました。また、どの設置場所でもヒトが撮影され、ヒトが活動している場所でも夜間は野生動物が闊歩していることが分かりました。自然があるとヒトがいる場所が近くても野生動物がいるのですね。

このように調査で得られた新鮮で詳細な情報を使って、より充実した展示やイベントを皆様へ提供していきたいと思えます。

(奥村 みほ子／主任学芸員)



イタチ



タヌキ



アライグマ

## 展示のお知らせ（4月～9月）

	タイトル	期間	内容
特別展	秩父鉦山の面影 ～ニッチツが所蔵した希代の鉦物標本群～	3月 8日(土)～ 6月15日(日)	秩父鉦山（ニッチツ鉦山）の歴史をたどりながら、（株）ニッチツ秩父事業所より寄贈を受けた100点余りの標本群を展示します。
企画展	新収集品展	6月28日(土)～ 10月13日(月)	博物館の活動を充実させるため、継続的な標本収集が行われており、最近4年間で得られた資料を紹介いたします。
トピック展	埼玉の森をつくる木たち	2月 4日(火)～ 6月15日(日)	第75回全国植樹祭埼玉2025において、天皇・皇后両陛下がお手植えされる樹種について、生態や県内の分布、利用などを紹介します。
	標本制作の技（地質編）	6月17日(火)～10月 5日(日)	集めた自然物を標本にする際の手法や過程を紹介します。

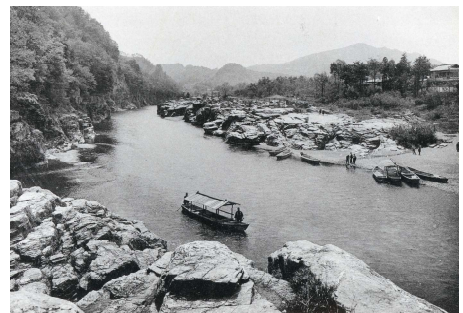
※開館時間：9：00～16：30（7・8月は17：00まで） 入館は閉館30分前まで

※休館日：月曜日（祝日、振替休日、GW、7・8月は開館） 燻蒸のため休館：9月5日(金)～9月12日(金) その他、臨時休館あり

※その他イベントについては、リーフレット（展示・イベント案内）またはホームページ（<https://shizen.spec.ed.jp/>）をご覧ください

## 白鳥島から長瀨岩畳を望む 大正～昭和初期（推定）の写真をカラー化（表紙解説）

表紙の写真は、大正～昭和初期（推定）にかけて撮影された岩畳の風景を、画像処理ソフトを用いてカラー化したものです。写真をよく見ると、舟の形状や観光客の服装、岩畳上の植生が現在とは違っているのが分かります。国の名勝及び天然記念物に指定されてから100年経った今でも、長瀨の溪谷美は多くの観光客の目を楽しませています。



(山岡 勇太／学芸員)

白鳥島から望む長瀨岩畳（白黒写真）